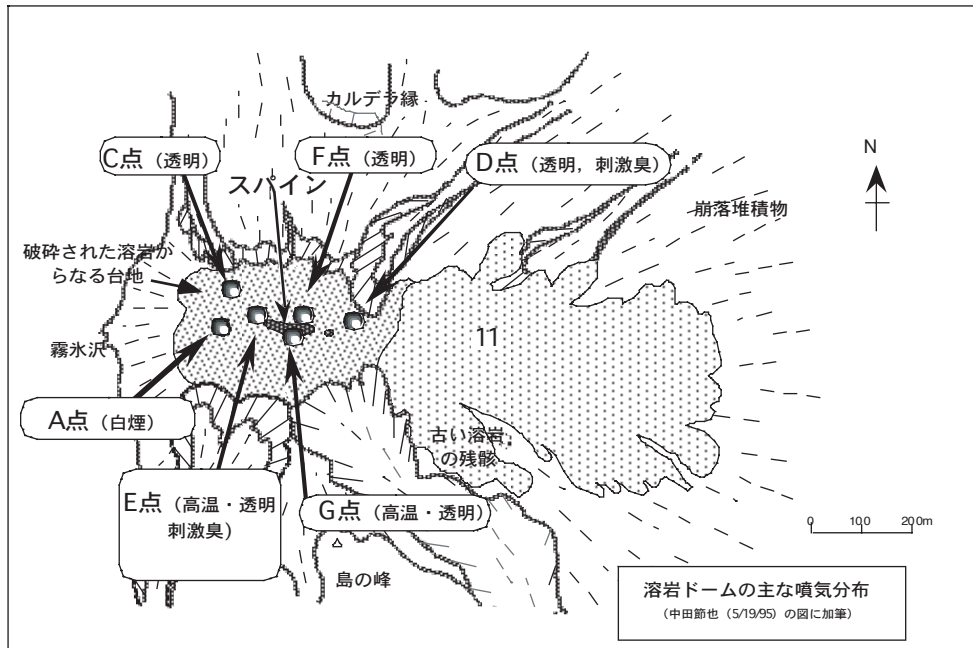
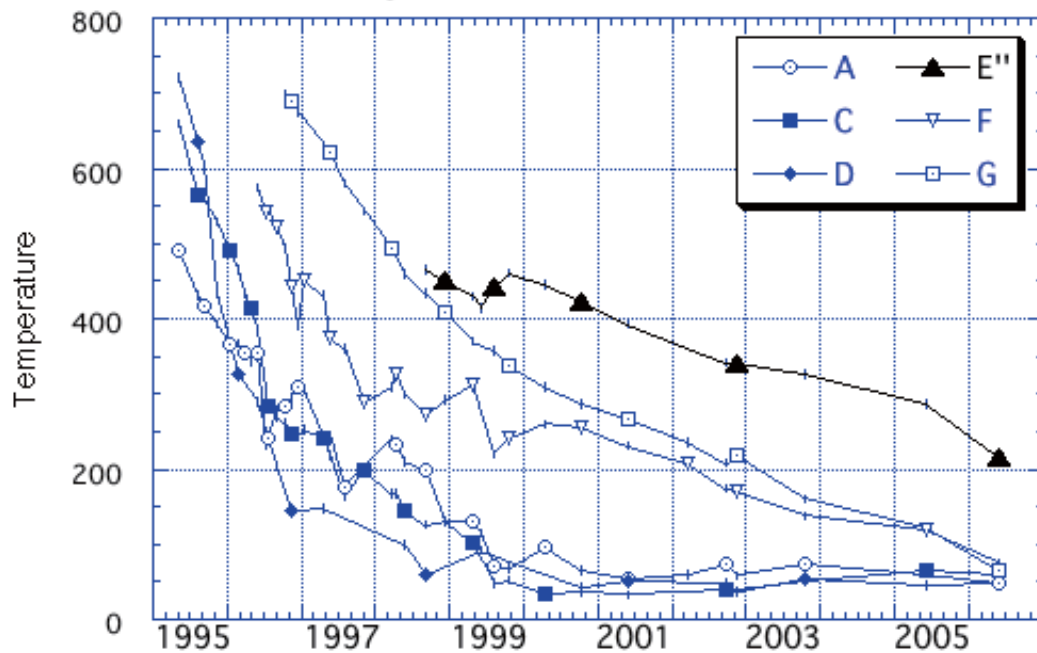


平成新山ドームの噴気ガス温度変化

九州大学地震火山観測研究センター*



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 2006年5月30日測定での最高温度はE地点の摂氏217度であった。
- E点は東に傾きながら隆起した尖頂（Spine）の西側の根元にある。マグマの湧き出し口（旧地獄跡火口）の直上にあると推測される。
- 平成新山頂上の尖頂の崩落が進んでいる。